

OXIDE

株式会社オキサイド

2024年2月期 決算補足説明資料

(6521 東証グロース)

2024年4月15日

2024年2月期通期実績（連結）

OXIDE

- 業績は3Qを底に4Qから回復基調にあります。
- 上場以来初の営業赤字となりましたが、将来の成長に向けた研究開発投資と設備投資を継続しております。

（単位：百万円）

	参考 23/2月期 単体	24/2月期				通期	増減
		1Q	2Q	3Q	4Q		
売上高	5,752	1,359	1,964	1,370	1,913	6,606	854
営業利益	537	▲48	▲40	▲541	▲351	▲983	▲1,520
（営業利益率）	9.3%	▲3.6%	▲2.1%	▲39.5%	▲18.4%	▲14.9%	-
研究開発費	675	193	239	281	335	1,049	374
設備投資額	1,355	979	278	452	325	2,035	679
EBITDA※	893	46	211	▲315	▲19	▲77	▲971
（EBITDAマージン※）	15.5%	3.3%	10.8%	▲23.0%	▲1.0%	▲1.2%	-

※ EBITDA：営業利益に償却費を加えた数値 ※ EBITDAマージン率：EBITDA÷売上高

Copyright: 2024 OXIDE Corporation. All Rights Reserved.

1

まずはじめに、2024年2月期の決算概要をご説明させていただきます。

売上高は、前期比 8 億5,400万円の増収で、66億600万円となりました。

営業利益は、上場以来初の営業赤字で、マイナス9億8,300万円となりました。

この理由は、一部部材不具合の影響により半導体事業において予想売上高を確保できなかったことや、費用負担が増加し利益率が低下した為です。

会社業績は、一部部材不具合問題解決の目途がたったため、第3四半期を底に第4四半期から回復基調となっております。

また、将来の成長に向けた投資は継続しており、研究開発費は10億4,900万円、設備投資費は20億3,500万円となりました。

2024年2月期通期（連結） 予実差異分析

OXIDE

- 売上高は、当初予想87億7,300万円から21億6,600万円減の66億600万円となりました。
- 売上総利益は、当初予想35億5,400万円から16億6,900万円減の18億8,400万円となりました。差異の内約15億円が、半導体事業における一部部材不具合による利益の逸失と部品修理費など一過性のものです。

(単位：百万円)

	当初予想 2023年4月 開示	通期	差異	差異分析
売上高	8,773	6,606	▲ 2,166	
半導体	4,978	3,140	▲ 1,837	一部部材不具合による売上高減少
ヘルスケア	1,721	1,592	▲ 128	中国経済減速等の影響から主要顧客向けの出荷が低調に推移
新領域	2,073	1,874	▲ 198	理化学用途向けなど一部大型案件が延伸
売上総利益	3,554	1,884	▲ 1,669	約▲1,500：一部部材不具合による利益の逸失と部品修理費（引当金含み）
研究開発費	1,039	1,049	10	
販管費	2,039	1,817	▲ 221	Raicol社向け株式報酬費用減、のれん償却費減、等
営業利益	471	▲ 983	▲ 1,454	

Copyright: 2024 OXIDE Corporation. All Rights Reserved.

2

次に、2024年2月期の当初予想と実績の差異についてご説明いたします。

売上高は、当初予想87億7,300万円から21億6,600万円減の66億600万円となりました。

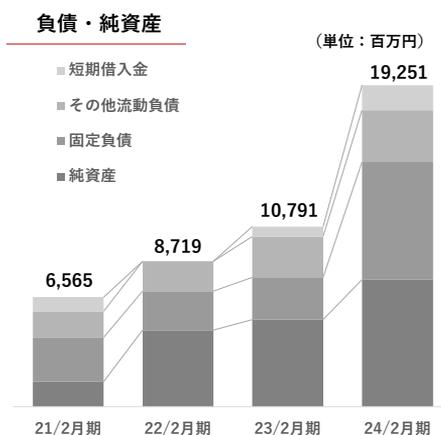
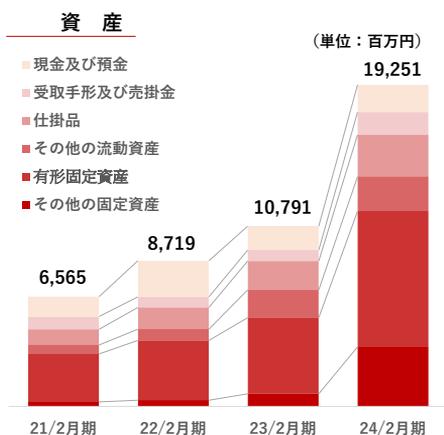
売上総利益は、当初予想35億5,400万円から16億6,900万円減の18億8,400万円となりました。

売上総利益の差異16億6,900万円の内、約15億円が、半導体事業における一部部材不具合による利益の逸失と部品修理費など、一過性のものです。

貸借対照表

OXIDE

- Raicol社買収や設備投資により、総資産は84億6,000万円増加しております。
2024年1月にKLAテンコール社を割当先とした第三者割当増資を行い、自己資本比率は約40%となりました。



Copyright: 2024 OXIDE Corporation. All Rights Reserved.

3

次に貸借対照表について、ご説明いたします。

2023年3月のRaicol社買収や積極的な設備投資により、総資産は84億6,000万円増加しております。

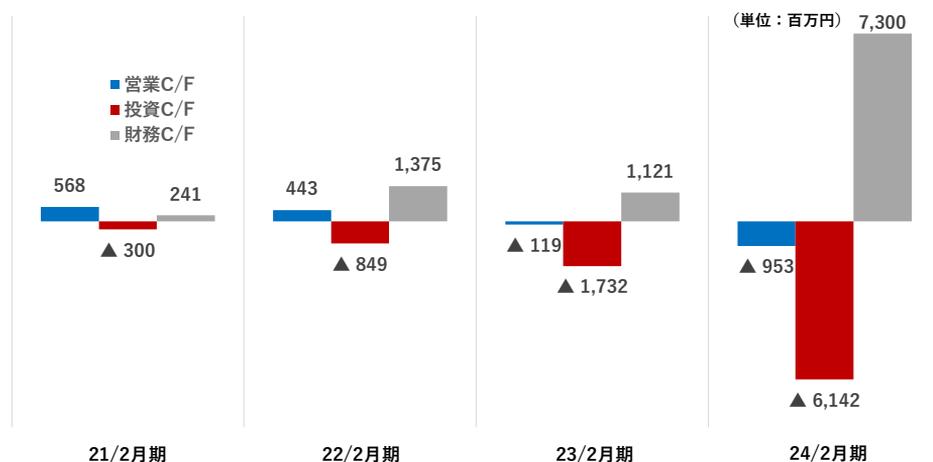
2024年1月にKLAテンコール社を割当先とした第三者割当増資を行いました。

2024年2月末時点の自己資本比率は約40%です。

キャッシュフロー

OXIDE

■ 営業C/Fと投資C/Fでのマイナスを賄うため、財務C/Fとして金融機関からの借入と第三者割当増資を行いました。



Copyright: 2024 OXIDE Corporation. All Rights Reserved.

4

続いて、キャッシュフローについて、ご説明いたします。

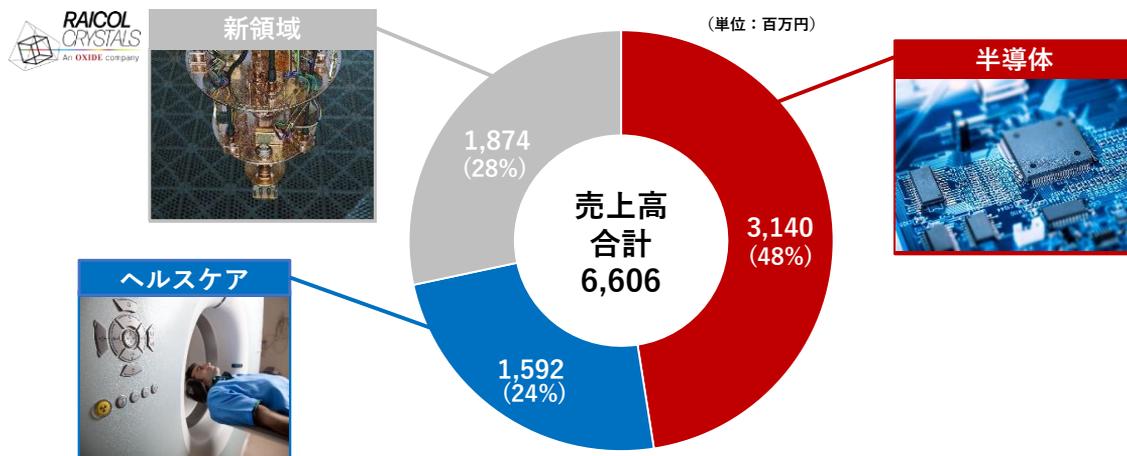
営業キャッシュフローは、営業赤字を受けてマイナス9億5,300万円となりました。投資キャッシュフローも、Raicol社の子会社化や設備投資を受けて、マイナス61億4,200万円となりました。

営業キャッシュフローと投資キャッシュフローのマイナスを賄うため、金融機関からの借入と第三者割当増資を行い、財務キャッシュフローは73億円となりました。

事業別売上高構成

OXIDE

■ Raicol社買収により新領域事業の構成比が拡大し、28%となりました。



Copyright: 2024 OXIDE Corporation. All Rights Reserved.

5

事業部別売上高構成について、ご説明いたします。

Raicol社買収により新領域事業の構成比が拡大し、28%となりました。

今後も半導体事業とヘルスケア事業の成長を目指すと共に、新領域から新たな事業の柱の創出を進めます。

【半導体】

OXIDE

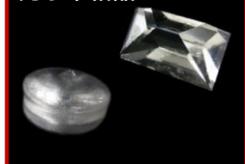
■ 売上高は前期比96.9%の31億4,000万円となりました。

(単位：百万円)

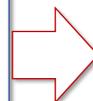
半導体	23/2月期	24/2月期				通期	前期比	前回予想	前回予想 達成率
		1Q	2Q	3Q	4Q				
売上高	3,239	1,017	773	491	858	3,140	96.9%	3,050	103.0%

半導体ウエハ欠陥
検査装置に用いる 当社の製品群

光学単結晶



紫外レーザー



イメージ写真：
半導体ウエハ欠陥検査装置

Copyright: 2024 OXIDE Corporation. All Rights Reserved.

6

次に、事業ごとの状況をご説明いたします。

まずは半導体事業ですが、売上高は前期比96.9%の31億4,000万円となり、前回発表予想を若干上回りました。

一部部材不具合問題の進捗については、次のページでご説明いたします。

【半導体】部材不具合対応状況

OXIDE

- セカンドベンダー部材への切り替え協議が顧客と進展し、2024年1月より出荷を開始しました。
- 現在までのセカンドベンダー部材歩留まりは100%です。
- 一方、ファーストベンダー※ではエンジニアリング問題の解決に至りませんでした。その結果、当初見込んでいた修理費用及び製品保証引当金の不足が発生し、第4四半期末において1億700万円の追加計上となりました。
- サードベンダー候補となる複数のメーカーとコンタクトし、性能を検証中です。内製化についても部材選定を進めております。



Copyright: 2024 OXIDE Corporation. All Rights Reserved. ※ 第3四半期決算までの資料における、現行ベンダーをさす

7

次に、一部部材不具合問題の進捗について、ご説明いたします。

セカンドベンダー部材搭載品への切り替えについて顧客と協議を行ってまいりましたが、一部顧客からの認定が完了し、2024年1月より出荷を開始しました。

セカンドベンダーでの製造は順調に推移し、現在までの製造歩留まりは100%です。

一方、ファーストベンダーでは、エンジニアリング問題の解決に至りませんでした。その結果、当初見込んでいた修理費用及び製品保証引当金の不足が発生し、第4四半期末において1億700万円の追加計上となりました。

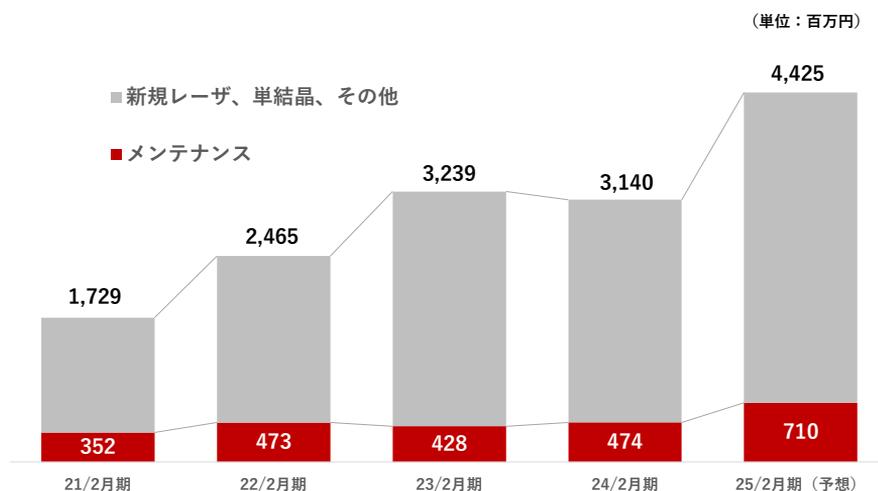
また、マルチベンダー化を図るために、サードベンダー候補となる複数のメーカーとコンタクトし、性能を検証中です。

内製化についても部材選定を進めております。

【半導体】半導体事業の売上高推移

OXIDE

■ 2025年2月期は、売上高が回復し、40.9%増の44億2,500万円を見込んでおります。



Copyright: 2024 OXIDE Corporation. All Rights Reserved.

8

半導体事業の売上高推移についてご説明いたします。

2024年2月期は、一部部材不具合問題の影響で売上高が微減となりました。

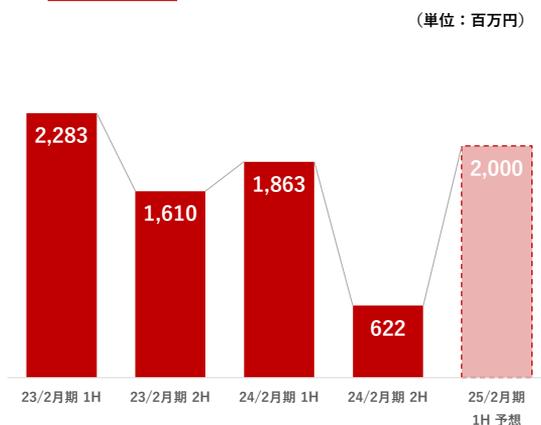
2025年2月期は、売上高が回復し、40.9%増の44億2,500万円を見込んでおります。

【半導体】受注高と受注残高

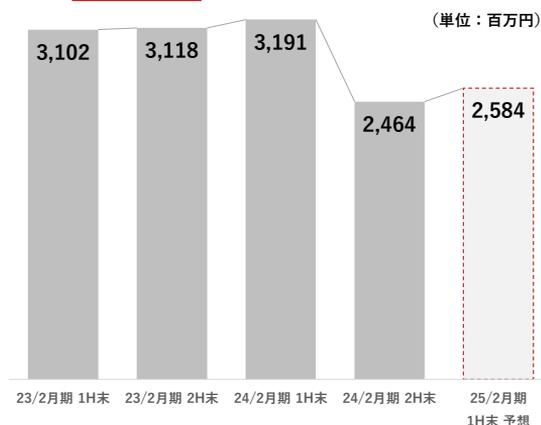
OXIDE

- 2024年2月期 2Hでは受注済案件の製造対応を優先し、新規受注を制限しました。2025年2月期 1Hからは新規受注高も回復する見通しです。

受注高



受注残高



Copyright: 2024 OXIDE Corporation. All Rights Reserved.

9

続いて、半導体事業の受注高と受注残高についてご説明いたします。

2024年2月期下半期では、受注済案件の製造対応を優先し、新規受注を制限しました。

その結果、受注高は6億2,200万円となりました。

セカンドベンダー部材を搭載したレーザ製品出荷開始に伴い、新規受注の制限を解除しましたので、2025年2月期上半期からは受注高も回復し、約20億円を見込んでおります。

【ヘルスケア】

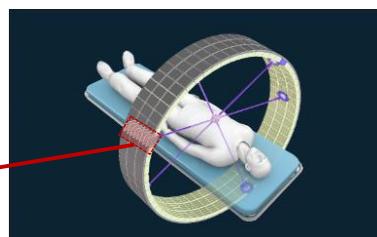
OXIDE

- 中国経済減速等の影響から主要顧客向けの出荷が低調に推移し、前期比89.9%の15億9,200万円となりました。

(単位：百万円)

ヘルスケア	23/2月期	24/2月期				通期	前期比	前回予想	前回予想 達成率
		1Q	2Q	3Q	4Q				
売上高	1,772	245	597	371	378	1,592	89.9%	1,614	98.7%

PET検査装置に用いる
当社の製品



PET検査装置のしくみ

Copyright: 2024 OXIDE Corporation. All Rights Reserved.

10

続きまして、ヘルスケア事業についてご説明いたします。

中国経済減速等の影響から主要顧客向けの出荷が低調に推移し、前期比89.9%の15億9,200万円となりました。

【新領域】

OXIDE

■ 2QからRaicol社の連結を開始し、前期比252.9%の18億7,400万円となりました。

(単位：百万円)

新領域	23/2月期	24/2月期				通期	前期比	前回予想	前回予想 達成率
		1Q	2Q	3Q	4Q				
売上高	741	96	594	506	676	1,874	252.9%	1,847	101.5%

主な取組分野



オキサイド



Raicol



パワー半導体
SiC単結晶、Ga₂O₃単結晶



宇宙・防衛



美容



LIDAR, 5G



量子



エネルギー

次に、新領域事業についてご説明いたします。

第2四半期からRaicol社の連結を開始し、売上高は前期比252.9%の増収になりました。

前回発表予想を若干上回りました。

【新領域】 Raicol社のPMI

OXIDE

- 2023年3月子会社化後の経営統合は、イスラエル紛争の影響はありつつも着実に進捗しています。

(百万円)

Raicol社の売上は堅調に増加傾向

	2021年	2022年	2023年
Raicol社売上推移*	1,159	1,594	1,903

予備役として当初16名動員されたが全員業務に復帰済

主要な国際展示会に共同出展（アメリカ・ドイツ・日本）
営業活動の連携を加速

共同で進めるプロジェクトを12テーマ選定し、
各テーマ毎にプロジェクトマネージャーを配置



2024年1月30日-2月1日開催
Photonics West2024 共同出展の様子

※ NIS(新シェケル) = 40円で計算

※ 当社への連結開始は2024/2月期 2Qより開始

Copyright: 2024 OXIDE Corporation. All Rights Reserved.

12

Raicol社との経営統合状況についてご説明いたします。

2023年3月子会社化後、両社の交流を深め経営統合を進めております。

イスラエル紛争の影響はありつつも、Raicol社の売上は堅調に増加しており、Raicol社単体の2023年売上高は約19億円となりました。

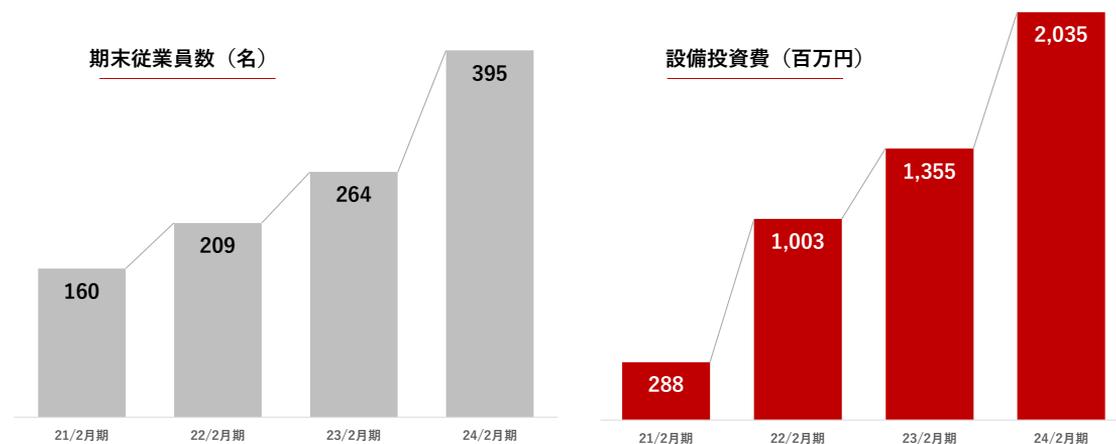
イスラエル紛争開始直後、予備役として当初16名動員されましたが、全員業務に復帰済です。

営業面では、主要な展示会に共同出展し、連携を加速しています。

研究開発面では、両社で進めるプロジェクトを12テーマ選定し、従業員の往来も含めて連携を深めております。

【従業員数】 【設備投資費】

- Raicol社子会社化に伴い従業員数は大幅に増加しました。
- 増産に向けた積極的な設備投資を継続しております。



Copyright: 2024 OXIDE Corporation. All Rights Reserved.

13

続いて、従業員数と設備投資費についてご説明いたします。

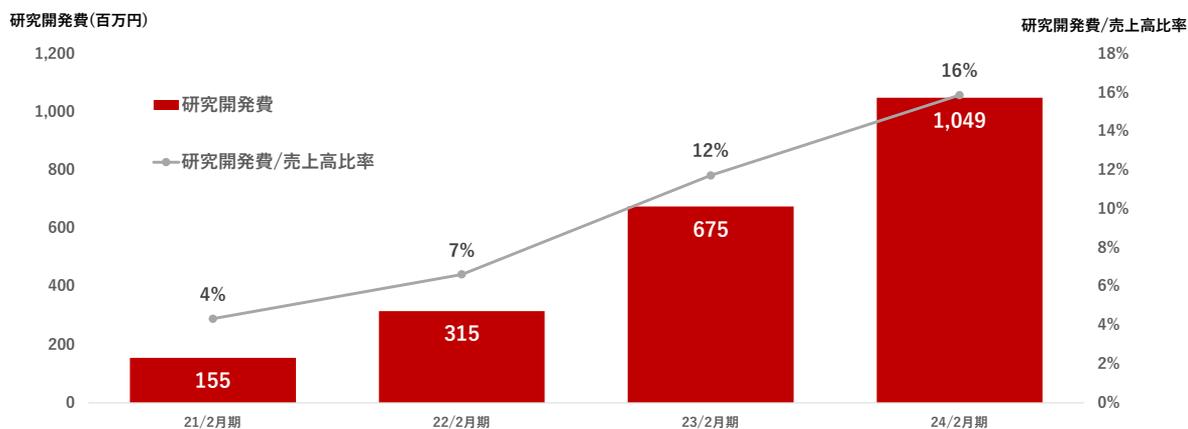
従業員数は、Raicol社の子会社化に伴い大幅に増加し、連結ベースで395名となりました。

設備投資費は、主に半導体事業の第4工場とパワー半導体事業の第5工場への投資により、20億3,500万円となりました。

【研究開発費】

OXIDE

- 研究開発費は、売上高の約16%に相当する10億4,900万円となりました。
将来の成長に向けて、主に半導体事業とパワー半導体関連の研究開発を強化しました。



Copyright: 2024 OXIDE Corporation. All Rights Reserved.

14

研究開発費についてご説明いたします。

研究開発費は、売上高の約16%に相当する10億4,900万円となりました。

将来の成長に向けて、主に半導体事業とパワー半導体関連の研究開発を強化しました。

2025年2月期 業績予想（連結）

OXIDE

- 売上高は前期比で19億円4,600万円増収し、通期で85億5,300万円の予想です。
- 営業利益率2.4%と黒字化を見込んでおります。
- EBITDAマージンは14.7%を見込んでおります。

（単位：百万円）

	24/2月期	25/2月期				通期	増減
		1Q	2Q	3Q	4Q		
売上高	6,606	1,514	1,968	2,446	2,623	8,553	1,946
営業利益	▲ 983	▲ 270	8	199	265	202	1,185
（営業利益率）	▲14.9%	▲17.8%	0.4%	8.1%	10.1%	2.4%	-
研究開発費	1,049	354	363	376	374	1,469	419
設備投資額	2,035					1,464	▲ 571
EBITDA*	▲ 136	▲ 16	268	467	538	1,259	1,395
（EBITDAマージン*）	▲2.1%	▲1.1%	13.6%	19.1%	20.5%	14.7%	-

※ EBITDA：営業利益に償却費を加えた数値 ※ EBITDAマージン率：EBITDA÷売上高

Copyright: 2023 OXIDE Corporation. All Rights Reserved.

15

続いて、2025年2月期の連結業績予想をご説明いたします。

売上高は、前期比で19億円4,600万円増収し、通期で85億5,300万円の予想です。

売上高の増収に伴い、営業利益は2億200万円と黒字化を見込んでおります。営業利益率は2.4%の予想です。

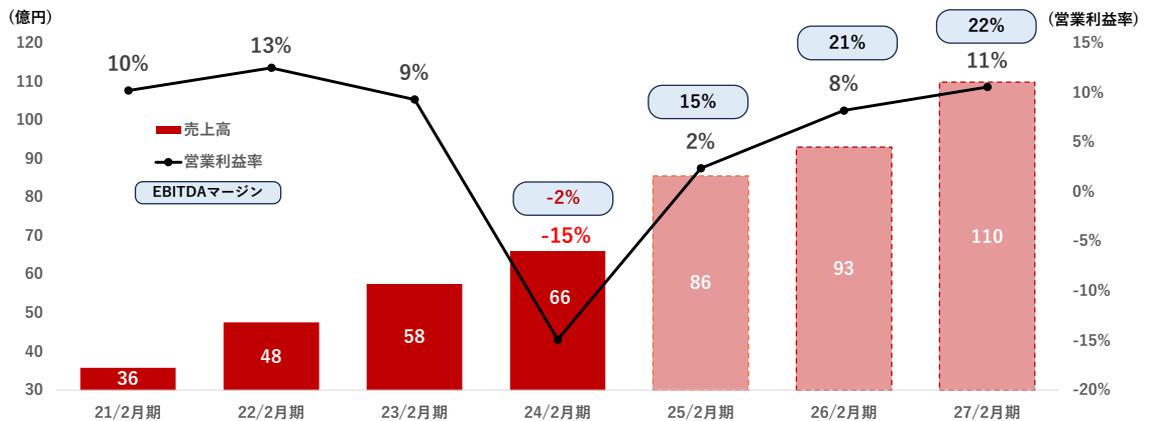
また、今期から新たに、キャッシュの創出力を測る指標として国内外で広く用いられるEBITDAマージンを経営指標として導入いたします。

EBITDAマージンは14.7%を見込んでおります。

中期経営目標（2025年2月期～2027年2月期）

OXIDE

- 今期より営業利益率とEBITDAマージンを経営指標として取り組んでまいります。目標値はそれぞれ、営業利益率10%、EBITDAマージン20%です。
- 2027年2月期では、売上高約110億円、営業利益率11%、EBITDAマージン22%を見込んでおります。



Copyright: 2023 OXIDE Corporation. All Rights Reserved.

16

最後に、中期経営目標についてご説明いたします。

経営指標の目標値はそれぞれ、営業利益率10%、EBITDAマージン20%としました。既存事業の成長に加えて、現在注力中の新事業創出を実現し、2027年2月期では、売上高約110億円、営業利益率11%、EBITDAマージン22%を目指します。



OXIDE

<https://www.opt-oxide.com>

Copyright: 2024 OXIDE Corporation. All Rights Reserved.

ディスクレイマー

本資料は当社が発行する有価証券の投資勧誘を目的として作成されたものではありません。
本資料に掲載されている事項は、資料作成時点における当社の想定及び所信に基づく見解であり、その情報の正確性及び完全性を保証または約束するものではありません。

実際の業績に影響を与えるリスクや経済動向、業界需要などの不確定要因を含んでいます。

当社の見込みと実際の業績は異なる場合があります。ご了承ください。

本資料に記載された金額は表示単位未満を切り捨て処理、比率は表示単位未満を四捨五入処理しているため、内訳の計が合計と一致しない場合があります。

半導体

医療

パワー
半導体

結晶と光で社会に貢献する Crystal Miracles by OXIDE

ディスプレイ

自動運転

5G